

2025/2026 シーズン
日韓国交正常化 60 周年記念公演

焼肉ドラゴン

コラボ商品も多数！公演グッズ販売のお知らせ

「新江戸染 丸久商店」、国産クラフト生マッコリ「White Monday」、
多国籍生活雑貨店「SENTRAL STORE」とのコラボ商品を新国立劇場公演会場で販売！
「妻家房」韓国総菜の軽食セットも販売！毎日、キッチンからの出来立てをお届け！



2025 年、日韓国交正常化 60 周年を迎えることを記念し、**鄭 義信**が日本の戦後史の影を描いた、日韓合同公演『焼肉ドラゴン』を上演いたします。

本作は、2008 年に新国立劇場が芸術の殿堂（ソウル・アーツ・センター）とのコラボレーション企画として、鄭 義信に書き下ろしを依頼し制作されました。

1970 年前後、高度経済成長と大阪万博に沸く関西の地方都市。そこで慎ましくも懸命に生きる在日コリアン一家と、彼らが営む焼肉店「焼肉ドラゴン」に集う人々の人間模様を、生き生きと描き出した本作。2008 年の初演では、開幕直後から口コミで大きな評判を呼び、東京・ソウル公演では連日スタンディングオベーションを巻き起こすなど、観客から熱狂的な支持を受けました。その年の日韓両国で数々の演劇賞を受賞し、2018 年には鄭義信自身がメガホンを取り映画化もされました。

日韓の過去、現在、そして未来を、音楽を交えながら、おかしくも哀しく切なく描くこの物語は、2008 年、2011 年、2016 年に続き、2025 年に 4 度目の上演を果たします。今回の上演では、ま

ず 10 月 7 日より新国立劇場 小劇場から幕を開けます。その後、11 月に芸術の殿堂での韓国公演、そして福岡、富山での全国公演を経て、12 月 19 日からは満を持して新国立劇場に凱旋します。凱旋公演の会場は、なんと中劇場！初演から 17 年を経て、新たな歴史を刻みます。

今回の上演を記念して、各ブランドとコラボしたオリジナルグッズを新国立劇場公演会場で販売いたします！

江戸文化の町、日本橋堀留町の老舗「新江戸染 丸久商店」とのコラボで、作中の印象深いアイテムやタン屋根をあしらったオリジナルのレトロ風デザインの手ぬぐい。そして、『焼肉ドラゴン』をイメージしたオリジナルラベルの国産クラフト生マッコリ「White Monday」。大阪西区にスペースを構える多国籍生活雑貨店「SENTRAL STORE」とのコラボレーションで製作されたオリジナルキーホルダーなど魅力的な商品が揃いました。

さらには、観劇体験をより豊かにする韓国フードも販売！韓国伝統家庭料理レストラン「妻家房」の韓国惣菜の軽食セットをキッチンからの作りたてでご提供します。他、韓国メーカーのグッズや雑貨も多数取り揃えております。

ぜひ、劇場でご観劇に加え、作品をモチーフにしたオリジナルグッズや、作品世界と同じ食に触れ、『焼肉ドラゴン』の世界をより深くお楽しみください。

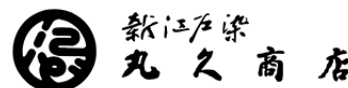
【コラボ商品①】新江戸染 丸久商店 × 新国立劇場『焼肉ドラゴン』 オリジナル手ぬぐい



浴衣でも知られている伝統的染色技術の東京本染注染による手ぬぐいです。
作中の印象深いアイテムやタン屋根をあしらったオリジナルのレトロ風デザインです。ご観劇の記念にどうぞ。

販売価格：¥1,320(税込)

新江戸染 丸久商店



丸久商店は明治三十二年、日本橋堀留町にて創業した注染製品の老舗です。そして、日本の芸事に季節のお祭りに、丸久は”新江戸染”の名でその歩みとともに沢山の柄や図案を産み出して彩りを添えてきました。

5代目となる東京藝術大学日本画科出身の斉藤美紗子は、膨大な数の図案型紙から図案を復刻したり、着想を得て新たな柄を生み出すことにチャレンジ。現在ではその用途に限らず「注染」という一つの文化としてモノ作りを行っています。

<WEB サイト> <http://shinedozome.com/>

【コラボ商品②】White Monday × 新国立劇場『焼肉ドラゴン』 国産クラフト生マッコリ 720ml



千葉県産コシヒカリと韓国産 小麦麴を、韓国南西部コチャンで製造されている
かめの中で発酵・熟成させる伝統の技法で醸造されたナチュラルな生マッコリ
「White Monday」を『焼肉ドラゴン』オリジナルラベルで販売します。

ボトル購入者にはオリジナルコースターをプレゼント！

また、劇場内のbuffetでも飲むことも可能です。

720ml ボトル販売価格：¥2,500(税込)

劇場内buffet提供価格(シャンパングラスで提供)：¥1,000(税込)



White Monday

Natural Sparkling
Raw Rice Wine
White Monday

在日コリアンの成恭子(ソン・コンジャ)が手がける、日本初のクラフト生マッコリブランド。

韓国伝統の発酵技法をもとに、本物の生マッコリの自由な楽しみ方を広げ、心に響くおいしさと文化をシェアします。

<WEB サイト> <https://whitemonday.jp/>

【コラボ商品③】SENTRAL STORE × 新国立劇場『焼肉ドラゴン』ドラゴンキーホルダー



韓国をはじめアジアの雑貨が充実している多国籍生活雑貨店「SENTRAL STORE」とのコラボレーションで製作されたオリジナル商品。韓国食堂でおなじみのスプーンカバーをモチーフにキーホルダーを製作。『焼肉ドラゴン』にちなみ、ドラゴンをあしらったデザインです。
他、「SENTRAL STORE」が厳選した韓国グッズも多数、会場で販売します。

販売価格：¥880(税込)

SENTRAL STORE

大阪市西区にある「SENTRAL STORE」の店舗では、2025年10月3日(金)～13日(月・祝)に韓国の中秋節のイベント「チュソク(秋夕)」をテーマとした催しが開催されます。

<オフィシャル Instagram> https://www.instagram.com/sentral_store_jp/

他、こんな商品も会場で販売します！

肉タオル



劇中の焼肉のにおいにつられ、肉が食べたくなったあなたにぴったり！肉の柄が再現された今治市産の綿 100%タオルです。

販売価格：¥1,980(税込)

購入者特典！



ドラゴンキーホルダー・韓国雑貨・肉タオルの購入者には、特製の韓国お守りステッカー(ドラゴンデザイン)を差し上げます。

公演タイトルの『焼肉ドラゴン』と、作品のクライマックスで語られる印象的な台詞が、ハンゲルで記されています。

妻家房「韓国定番お惣菜 3 点盛合わせ」(キンパ、チヂミ、チャプチェ)



妻家房のキッチンから、作りたての韓国惣菜の軽食セットが劇場に届けられます！また、韓国ソフトドリンク缶(「ぶどうボンボンドリンク」、「シッケ」、「スジョンガ」)も販売します。
ぜひご観劇前、休憩中に召し上がって、食からも『焼肉ドラゴン』の世界をお楽しみください。

販売価格: ¥900(税込)

妻家房

薬食同源、五味五色をコンセプトに、こだわりの食材と多彩な味覚が調和したメニューをご提供する韓国伝統家庭料理レストラン。ヘルシーで満足感のある、本物のオモニ(母)の味がリーズナブルな価格で満喫できます。

<WEB サイト> <https://www.saikabo.com/>

妻家房
SAIKABO

『焼肉ドラゴン』クリアファイル、缶マグネット



印象的なちらしヴィジュアルがクリアファイルと缶マグネットに！ご観劇の記念にぜひどうぞ。

販売価格: 各¥500(税込)

他、『焼肉ドラゴン』戯曲や関連書籍、映画版の DVD も！

- 角川文庫「焼肉ドラゴン」販売価格: ¥572(税込)
- リトルモア『鄭義信戯曲集 たとえば野に咲く花のように／焼肉ドラゴン／パーマ屋スミレ』販売価格: ¥2,750(税込)
- KADOKAWA 映画『焼肉ドラゴン』DVD／Blu-ray 販売価格: DVD ¥4,180(税込) / Blu-ray ¥5,170(税込)
- 早川書房『悲劇喜劇』23 年 7 月号(韓国演劇・ミュージカル特集／鄭義信氏インタビュー掲載号) 販売価格: ¥1700(税込)

公演概要



2011年公演より 撮影:谷古宇正彦

日韓国交正常化 60 周年記念公演『焼肉ドラゴン』

2025 年 10 月 7 日(火)～27 日(月)新国立劇場 小劇場

2025 年 12 月 19 日(金)～21 日(日)新国立劇場 中劇場 <凱旋公演>

〔韓国公演〕11月14日(金)～23日(日)芸術の殿堂(ソウル・アーツ・センター) CJトウォル劇場

〔福岡公演〕 12月6日(土)～12月7日(日)J:COM北九州芸術劇場 中劇場

〔富山公演〕 12月12日(金)～12月13日(土)オーバード・ホール 中ホール

【作・演出】鄭 義信

【出演】

千葉哲也、村川絵梨、智順、櫻井章喜、朴 勝哲、崔 在哲、石原由宇、北野秀気、松永玲子／イ・ヨンソク、コ・スヒ、パク・スヨン、キム・ムンシク、チョン・スヨン

【芸術監督】小川絵梨子

【主催】新国立劇場

【一般発売日】2025 年 10 月 12 日(日)10:00～<凱旋公演> ※小劇場公演は絶賛販売中！

【チケット料金】

〔小劇場〕A席 8,800円／B席 3,300円／Z席(当日)1,650円

〔中劇場〕S席 8,800円／A席 6,600円／B席3,300円／Z席(当日)1,650円

【公式サイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/play/yakinikudragon/>

ものがたり

万国博覧会が催された 1970(昭和 45)年、関西地方都市。高度経済成長に浮かれる時代の片隅で、焼肉屋「焼肉ドラゴン」の赤提灯が今夜も灯る。

店主・金 龍吉は、太平洋戦争で左腕を失ったが、それを苦にするふうでもなく淡々と生きている。

家族は、先妻との間にもうけた二人の娘・静花と梨花、後妻・英順とその連れ子・美花、そして、英順との間に授かった一人息子の時生.....ちよっとちぐはぐな家族と、滑稽な客たちで、今夜も「焼肉ドラゴン」は賑々しい。ささいなことで泣いたり、いがみあったり、笑いあったり.....。

そんな中、「焼肉ドラゴン」にも、しだいに時代の波が押し寄せてくる。

<本件に関するお問い合わせ>

制作部演劇 広報担当:杉田 TEL:03-5352-5738 Mail:sugita_a8863@nntt.jac.go.jp